地震・津波対策の進捗状況

１Ｆ　メガフロートの津波リスク低減完了について

２０２０年8月２７日

TEPCO

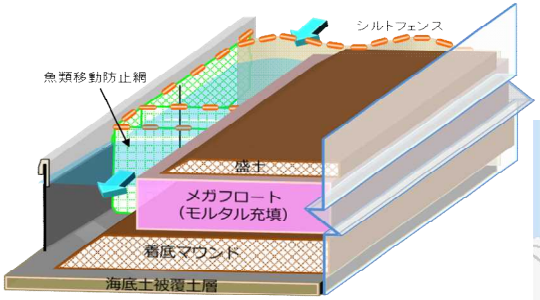
東京電力ホールディングス株式会社

メガフロート着底完了による津波リスク低減について

- メガフロートについては、震災により発生した５・６号機建屋滞留水を一時貯留するために活用してきたが、津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、リスクを早期に低減させ、かつ護岸および物揚場として有効活用するため2018年11月12日から工事を開始。
- その後、メガフロートを移動させ内部を除染し、４月からはメガフロート内部へのモルタル充填作業を進め、8月3日にモルタル充填作業が完了、メガフロートが着底したことで、津波※による漂流リスク低減が完了。
- 2021年度内に護岸および物揚場としての有効活用開始に向け、引き続き護岸整備工事や盛土工事を実施。

※既往最大津波への備えとして対策を実施しており3.11津波を想定し評価したもの。

【港湾内北側で係留されていた様子】
（2019年2月撮影）

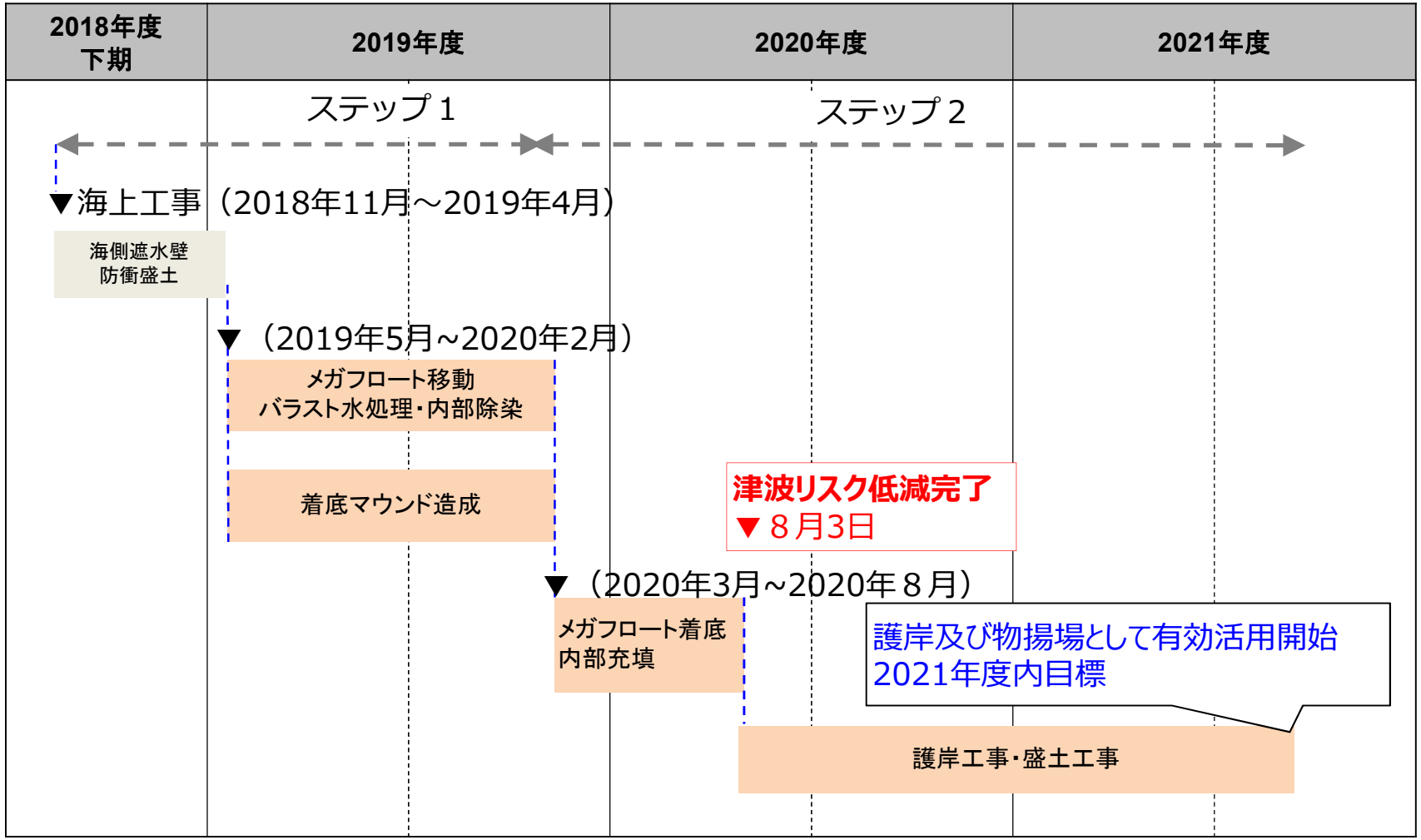


【完成断面図】

【メガフロート移動の様子】
（2019年5月撮影）

【①着底後のメガフロート上の様子】
（2020年8月3日撮影）

【②着底後のメガフロートの様子】
（2020年8月3日撮影）

メガフロート工事の全体概略工程

- 2020年度上期目標の津波リスク低減のための内部充填作業が８月３日に完了。
- 2021年度内の護岸および物揚場として有効活用開始に向け引き続き作業を実施。